

NACHI

(第136期) 2018年11月期

事業報告書

2017年12月1日から2018年11月30日まで



株式会社 **不二越**

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2018年11月期(2017年12月1日から2018年11月30日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経営環境

当期における当社グループをとり巻く環境は、日本経済の緩やかな回復に加え、海外においても、欧米やアジアを中心に経済成長が続き、総じて堅調に推移しました。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、ロボット事業を核に、工具、工作機械、ペアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、海外の現地ユーザーを中心とした新規開拓や、画期的な新商品の開発・市場投入など、受注・売上の拡大にとり組んでまいりました。また、中長期的な業容の拡大と収益構造の改善に向けて、開発・営業・生産体制の強化・拡充を進めてまいりました。

以上の結果、当期の連結売上高は、2,522億円と前期と比べ6.2%の増収となりました。このうち、国内売上高は1,310億円(前期比9.9%増)、海外売上高は1,211億円(同2.4%増)であります。利益につきましては、原材料価格の高騰に加え、エネルギー・物流コスト、人件費等の上昇が収益を圧迫し、営業利益は153億円(同5.1%減)、経常利益は139億円(同5.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は89億円(同8.2%減)となりました。

配当金

期末配当金につきましては、収益の状況、今後の事業展開を勘案し、1株につき100円とさせていただきました。なお、当社は、2018年6月1日付で、普通株式10株を1株とする株式併合を行っております。

今後のとり組み

今後の見通しにつきましては、足もとでは、自動車・建設機械分野の需要は堅調に推移し、また、産業機械分野を中心に、合理化・自動化のニーズが一段と高まつくるものと予想されます。一方、先行きにつきましては、米中通商問題をはじめとする経済情勢の不透明感や、自動車分野におけるEV化の動きの強まり、世界的な労働人口の減少とAI・IoTの進展によるFA化の加速など、当社をとり巻く経営環境は、大きく変化することが予想されます。

当社グループといいたしましては、このような構造の変化を大きなチャンスととらえ、需要の拡大が期待できるロボット事業に軸足を置き、「世界のものづくりを先進のFAシステムとメカトロニクスで革新する」を中期的なスローガンとして、営業・サービス、製造・調達、研究開発の各面で体質を強化してまいります。そして、ロボットをはじめ多彩な事業・技術・生産ノウハウを有する独自性を活かし、EV化やものづくりのFA化ニーズに応える新しい商品・新しいビジネスチャンスを創出するとともに、抜本的なコスト改革、人材の強化・育成にとり組み、業績の一層の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2019年2月



代表取締役会長



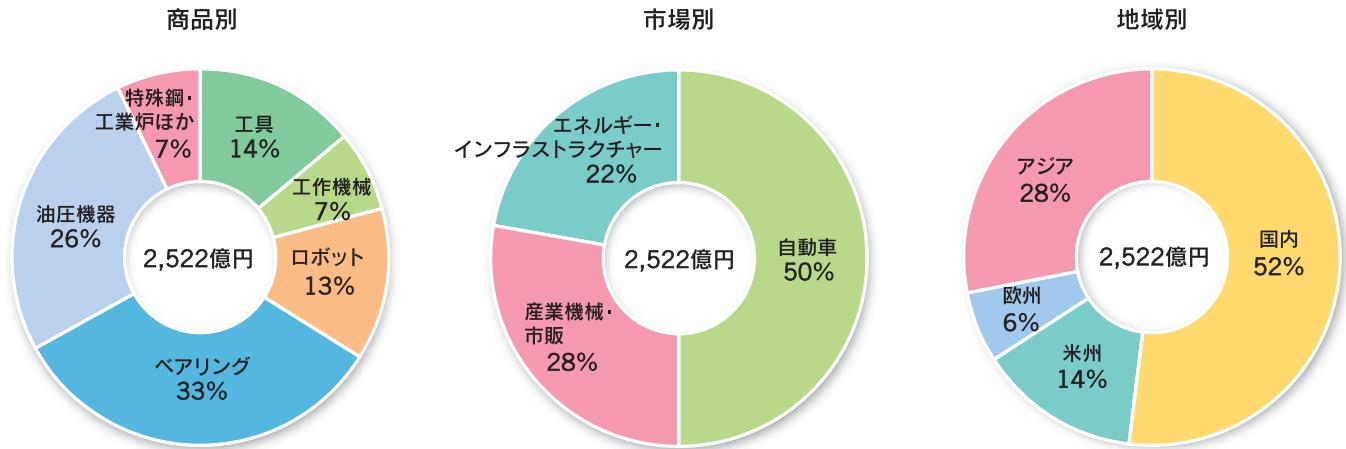
代表取締役社長

本間 博夫

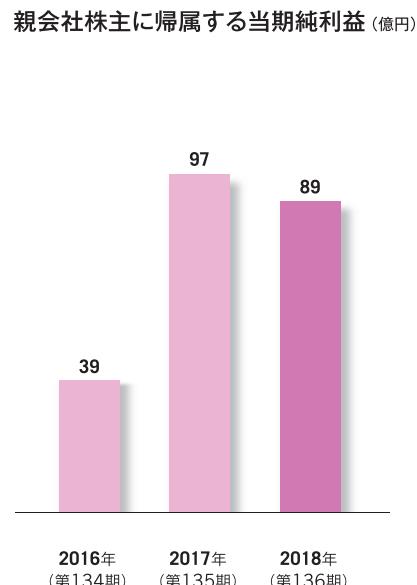
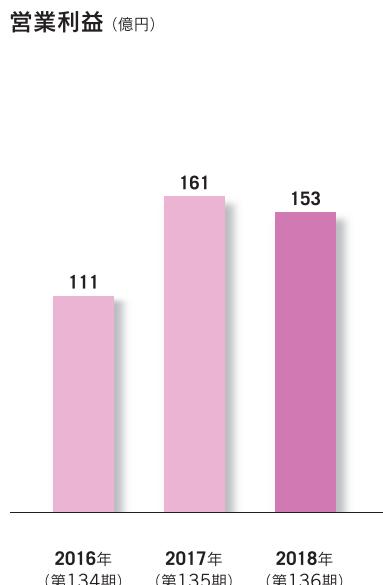
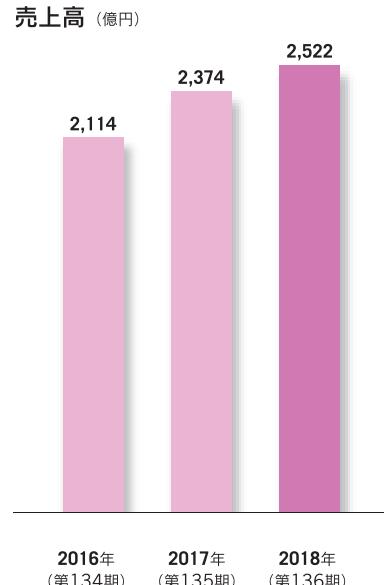
坂本 淳

業績の概要(連結)

売上高の構成



業績の推移



トピックス

1. 商材の拡充

EV化やものづくりのFA化の進展に対し、独自の技術・ノウハウで、お客様の高度なニーズに応えてまいります。

○ 小型ロボットのラインナップ拡充

超小型コンパクトロボット「MZ01」を市場投入。1kg可搬クラスの垂直多関節ロボットでは世界最小のボディを実現し、小型部品を多く扱う電機・電子・EMSなどの分野で、設備の省スペース化ニーズに対応します。



○ 新しい超硬ドリルを市場投入



超硬ドリル「アクアREVOドリル」

新開発の超硬素材とコーティング、新設計の刃形形状を採用した、革新的な超硬ドリル「アクアREVOドリル」を発売。

他社従来品に対して、
2倍以上の長寿命化を実現。

超硬素材の生産ラインには、
当社のロボットシステムを活用した
自動化ラインを導入し、品質の安定化と
生産性向上を両立しました。



超硬素材の生産ライン

○ EV・自動運転向け商材の拡充

EVや自動運転技術に対応した商品開発を加速してまいります。

電動ユニット用薄肉深溝玉軸受は、
保持器形状の最適化、軸受幅の短縮により、
電動ユニットのコンパクト化・軽量化に貢献します。

ソレノイド技術をベースとした電動アクチュエータは、
ハイパワーで、ロック機構に使用可能で、
パワートレインの電子制御化に寄与します。



電動ユニット用薄肉深溝玉軸受



電動アクチュエータ

2.グローバル化に向けた取り組みの推進

長期ビジョンで掲げる、海外売上高比率60%の実現に向けて、海外での事業展開を進めております。

○中国での事業拡大

中国販売子会社を『不二越(中国)有限公司』に名称変更。あわせて同地域における統括機能を強化。

また、政府が主導する『中国国際輸入博覧会』に初出展、ロボットやIoTを駆使した展示に注目が集まりました。



中国国際輸入博覧会 2018年11月

○世界各地の展示会へ積極出展



IMTS(アメリカ)
2018年9月



JIMTOF(日本)
2018年11月

3.生産体制の強化

最新のロボット・FAシステムを導入した工場を新設し、スリムで柔軟な生産体制を構築してまいります。

○国内工場の新設

ロボット第3工場(小型ロボット生産)と、カーハイドロリクス第4工場を新設。ともに、2019年に稼働開始予定。



小型ロボット新工場

○無人化・自動化ラインの導入

機械・設備でモノを作る、合理化・少人化に向けて、各工場に、無人化・自動化ラインの導入を進めております。



ロボットシステムを活用した自動化生産ライン

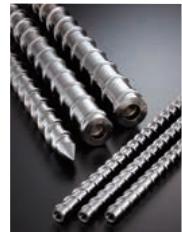
○日刊工業新聞社の十大新製品賞などを受賞

スリムアーム協働ロボット「CZ10」は優れた安全性能や、使いやすさ、高精度な作業性能が高く評価され、「十大新製品賞 モノづくり賞」を受賞。

フツ素樹脂向け射出成形機用スクリュ部品「NPR-FX25」が長寿命と高強度を両立する技術の独創性が評価され、「超」モノづくり部品大賞 機械・ロボット部品賞」を受賞。



「CZ10」受賞式の様子



「NPR-FX25」

財務諸表

連結貸借対照表

科 目		前期(ご参考) (2017年11月30日現在)	当 期 (2018年11月30日現在)		
				(単位 百万円)	
(資 産 の 部)				(負 債 の 部)	
流 動 資 産		139,308	144,109	流 動 負 債	99,083
現 金 及 び 預 金		23,436	22,363	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	48,105
受 取 手 形 及 び 売 掛 金		53,561	58,378	短 期 借 入 金	29,534
た な 卸 資 産		51,925	56,337	そ の 他	21,443
そ の 他		10,385	7,030	固 定 負 債	80,671
固 定 資 産		159,846	153,090	長 期 借 入 金	53,925
有 形 固 定 資 産		114,867	113,634	退 職 給 付 に 係 る 負 債	10,866
建 物 及 び 構 築 物		31,598	30,582	そ の 他	15,879
機 械 装 置 及 び 運 搬 具		64,177	66,239	負 債 合 計	179,755
土 地		9,483	9,441	(純 資 産 の 部)	
そ の 他		9,608	7,370	株 主 資 本	102,785
無 形 固 定 資 産		2,654	2,749	資 本 金	16,074
投 資 そ の 他 の 資 産		42,324	36,706	資 本 剰 余 金	11,137
資 産 合 計		299,155	297,200	利 益 剰 余 金	75,824
				自 己 株 式	△ 251
				その他の包括利益累計額	10,113
				非 支 配 株 主 持 分	4,968
				純 資 産 合 計	6,500
				負 債 及 び 純 資 産 合 計	6,536
					119,399
					121,076
					299,155
					297,200

連結損益計算書

科 目		前期(ご参考) (2016年12月1日から) (2017年11月30日まで)	当 期 (2017年12月1日から) (2018年11月30日まで)
売 上 高		237,461	252,209
営 業 利 益		16,130	15,306
経 常 利 益		14,690	13,901
特 別 利 益		31	20
特 別 損 失		641	596
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		14,080	13,325
親会社株主に帰属する当期純利益		9,747	8,945

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目		前期(ご参考) (2016年12月1日から) (2017年11月30日まで)	当 期 (2017年12月1日から) (2018年11月30日まで)
営 業 活 動 に 由 る キ ャ ツ シ ュ ・ フ ロ ー		25,958	20,207
投 資 活 動 に 由 る キ ャ ツ シ ュ ・ フ ロ ー		△ 19,527	△ 18,110
財 務 活 動 に 由 る キ ャ ツ シ ュ ・ フ ロ ー		△ 3,874	△ 2,582
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額		2,443	△ 758
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高		20,093	22,537
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高		22,537	21,778

株式の状況 (2018年11月30日現在)

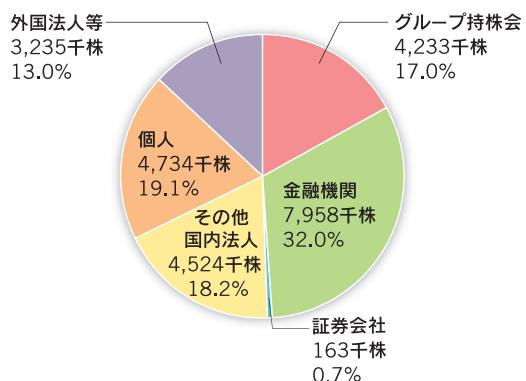
発行済株式の総数 24,919,343株
株主数 21,127名

大株主(上位5名)

(注)持株比率は自己株式(70千株)を控除して計算しています。

株 主 名		持株数(千株)	持株比率(%)
那智不二越株式会社	株式会社	2,112	8.50
トヨタ自動車株式会社	株式会社	1,366	5.50
三菱UFJ銀行	株式会社	1,318	5.30
北陸銀行	株式会社	1,188	4.78
		865	3.48

所有者別株式分布



取締役および監査役 (2019年2月19日現在)

代表取締役会長	本間博夫	取締役	井上哲一	取締役	岩田真二郎*
代表取締役社長	坂本淳	取締役	古澤信一	取締役	玉田純一*
取締役副社長	林秀憲	取締役	塚田裕一	取締役	山崎寛志一*
常務取締役	藤樺茂	取締役	佐々木法嗣	取締役	堀将昌
常務取締役	小林昌行	取締役	佐三浦正寿	取締役	飯嶋崎村
常務取締役	原英明	取締役	赤川正寿	常勤監査役	北*

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

会社の概要 (2018年11月30日現在)

設立 1928年12月21日 資本金 160億円 従業員数 3,147名(グループ人員7,484名)

主要な事業内容 機械工具事業 切削工具、塑性加工工具、切断工具、工作機械、機械加工システム、ロボット、ロボットシステム
部品事業 ベアリング、油圧機器、カーバイドロリクス
その他の事業 特殊鋼、コーティング、工業炉

主な国内事業所

本社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F	〒105-0021	Tel. 03-5568-5111
富山事業所	富山市不二越本町1-1-1	〒930-8511 [工具 工作機械 ベアリング ロボット]	Tel. 076-423-5111
東日本支社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F	〒105-0021	
中日本支社	名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル	〒465-0095	
西日本支社	大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル5F	〒530-0005	
東富山事業所	富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼] / 富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器]		
滑川事業所	富山県滑川市大掛176 〒936-0802 [油圧機器 カーバイドロリクス コーティング 工業炉]		

主な海外事業所

NACHI AMERICA INC.(アメリカ)	NACHI EUROPE GmbH(ドイツ)
不二越(中国)有限公司	那智不二越(江蘇)精密機械有限公司(中国)
NACHI TECHNOLOGY(THAILAND) CO., LTD.(タイ)	NACHI SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール)

単元株式数の変更 及び株式併合に関する お知らせ

当社は、2018年6月1日を効力発生日として、以下のとおり単元株式数の変更及び株式併合を行いました。

● 単元株式数の変更

1,000株から100株に変更いたしました。

● 株式併合

普通株式について10株を1株に併合いたしました。

株主メモ

証券コード 6474
事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会開催時期 2月
基準日 定時株主総会・期末配当 11月30日
中間配当 5月31日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1
三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4
郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ窓口 ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)
ホームページアドレス <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

■配当金の「口座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおおすすめします。

口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

株式数比例配分方式 お取引の証券会社の証券口座で、お受け取り
いただく方式(証券会社に口座がない株主様
は、ご利用いただけません)

登録配当金受領口座方式 ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座
で一括して、お受け取りいただく方式(ゆう
ちょ銀行の口座は、ご指定いただけません)

個別銘柄指定方式 ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定
し、お受け取りいただく方式

■株式に関するお手続きについて

1.配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買増・買取、住所氏名等 のご変更、株式の口座振替申請のお申出先について

株主様のお取引のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会
社に口座を開設されていない株主様は、特別口座管理機関である
三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2.未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙の写真

超硬ドリル「アクアREVOドリル」です。
新しく開発した超硬素材とコーティング、
新設計の刃形形状を採用し、高精度・
長寿命化を実現した、革新的なドリルです。
加工現場の生産性向上とコストダウンに
貢献します。